



# 第6学年「国語科」シラバス

6年生ではこんな学習をします



## 学習の目標

目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどについて、的確に話したり、相手の意図をつかみながら聞いたりすることができるようにし、計画的に話し合おうとする態度を育てます。

目的や意図に応じ文章全体の構成の効果を考え文章を書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てます。

目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読んだり、読書を通して考えを広げたり深めたりする態度を育てます。

## 学習の方法

見通しをもって取材をしたり、台本や原稿を書いたり、話し合ったりして目的に応じた様々な表現活動を行うようにします。

音読や朗読を通して情景描写や人物の心情を深く読み取るようにします。

学校図書館や公共図書館、コンピュータなどを活用して資料を収集し、学習に活かします。

総合的な学習と関連を持たせ、広がりのある活動を行います。

古文を声に出して読んだり、ドリルやノートなどで漢字や語句の学習を進めたりします。

## 学習の評価

国語科では次の観点で評価します。

「進んで国語科の学習ができ、幅広く読書する。」

授業への参加態度、提出物、発表等

「目的や意図に応じた的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりすることができる。」

行動の観察、発表、テスト

「目的や意図に応じて筋立てて文章を書くことができる。」

テスト、感想文、意見文、台本、作文、ノート、新聞等

「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。」

音読、朗読、ノート、テスト

「言語についての基礎的事項を正確に理解している。書写では文字を正しく整えて書くことができる。」

テスト、ノート、作文、発表、毛筆、硬筆

「伝統的な言語文化に触れたり、音声、文字、語句などの基礎を理解したりする。書写では、文字の大きさや配列などに気を付けて文字を書く。」

ノート・テスト・書写等

	学習する単元	学習の内容
前 期	1 表現を豊かにして「語り」をしよう 「風切るつばさ」 ・ 図書館へ行く ・ 熟語の構成を考えよう	物語の表現のよさを味わい、情景や人物の心情を想像しながら語りをし、作品の良さを味わいます。
	2 自分の考えを明確にしながら読もう 「イースター島にはなぜ森林がないのか」 ・ 学校の良さを宣伝しよう ・ 動詞にそえて使う言葉に目を向けよう	「事実と意見」を区別しながら、筆者の述べ方の工夫とともに主張を読み取り、自分の考えを持つようします。 組み立て方を考え、字形を整えて<湖><成長>を毛筆で書きます。
	3 物語が強く語りかけてきたことを考えながら読もう 「ばらの谷」 ・ 意見を聞きわけよう ・ 日本の文字に関心を持とう	場面の構成をとらえ、中心となる人物の変容や題名を手がかりにして、物語が自分に最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめます。
	4 書き手のくふうを考えながら新聞の投書を読もう 「新聞の投書を読み比べよう」 ・ 「わたしの意見」を書こう ・ 漢文をよんでみよう ・ 本は友達	新聞という実生活に関連した題材を取り上げ、複数の記事や投書を読み比べる学習を行います。
	5 詩と短歌を味わおう 「いま始まる新しいいまノ短歌」 ・ 単価 ・ 問題を解決するために話し合おう ・ 資料を活用して書こう	音読を通してリズムや言葉のひびきを味わい、イメージをふくらませます。 筆使いと字配りに気をつけて、<あこがれ><世界平和>を毛筆で書きます。
後 期	6 人物の生き方を考えながら読もう 「海のいのち(物語)」 ・ 子ども句会を開こう ・ 言葉の由来に関心を持とう	物語を読み深める学習を行います。人間関係を手がかりに読むことをおさえます。
	7 「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう 「未来に生かす自然のエネルギー」	資料の表し方や具体例の挙げ方に着目し、文章構成に注意しながら筆者の意見を読み取る学習を行います。
	8 資料を使って説明しよう 「深めよう、言葉の世界」 ・ 言葉は変わる	言葉について、調べたことをまとめ、発表方法を工夫して聞き手に分かりやすく伝える学習です。
	9 戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう 「ヒロシマのうた」	文学教材の読みをきっかけに、関連するテーマの本を読み広げます。
	10 ふるさとの良さを文章で伝えよう 「ふるさとの良さをしょうかいしよう」 ・ 伝えよう、大切にしたい名言	紹介したいものの良さを決めているいろいろな方法で調べます。伝えたいことに合わせてこれまでに学習した形式の中からまとめる形式を選び、紹介する文章を書きます。
	11 わたしたちの日本語について考えよう 「豊かな日本語の使い手になる」 ・ 雨のいろいろ ・ 数え方でみがく日本語	筆者の意見と具体例との関係に注意して読み、それをもとに自分の考えを書く学習を行います。
90 時間	12 未来に向かって 「君たちに伝えたいこと」 「春に」	随筆や詩を読んで、自分の考えを伝え合います。 字形を整えて<俳句(小筆)><伝統を守る><未来の夢>を毛筆で書きます。